

高機能無停電電源装置
APC RS 1000VA/1200VA
Sinewave Battery Backup 100V
(型番 : BR1000S-JP/ BR1200S-JP)
仕様書

シュナイダーエレクトリック株式会社

1.納入仕様書改版履歴

納入仕様書改版履歴

発行 年月日	変更ページ 変更図番	Rev.	変更理由・変更内容	記印
2016.12.28	新規発行	1	初版発行	KH
2017.2.28	P.9	2	交換用バッテリー型番誤記訂正	KH
2017.4.7	P.7	3	使用済みバッテリー送付先変更	KH
2017.8.25	P.9	4	切り替え特性に AVR 動作範囲追加 交換用バッテリー型番修正	KH

2.安全に関する情報

APC 製品、バッテリーの設置および保守の際に従うべき注意事項が記載されています。APC 製品のセットアップ、設置、再配置、保守を担当されるお客様は本仕様書および製品に同梱されているユーザマニュアルを必ずお読みの上、指示に従ってください。

本仕様書で使用する規約

このセクションでは、本仕様書を通して使用する記号を定義します。必ず全てに目を通して、指示にしたがってください。



危険

人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

取扱い時の安全確保のために



注意

- ・ UPS の質量にご注意ください。装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。

<18 kg (40lb.)



- ・ 10° 以上の傾斜のある場所での移動は避けてください。
- ・ 本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。
- ・ 本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。
- ・ 常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。



警告

- ・ 本装置は内部にバッテリーを含んでいます。AC 電源に接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- ・ UPS の電源が入っている時は電源ケーブルの入力プラグを抜かないでください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。

- ・ 発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。
- ・ 本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。
- ・ 塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。
- ・ 本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。
- ・ 本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。

電気的な安全確保のために



危険

- ・ 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。
- ・ 本装置の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
- ・ 絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。
- ・ 強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。



警告

- ・ AC100V (50/60Hz) の電源電圧にてご使用ください。規定以外の AC 電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。
- ・ アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電の原因となります。また、ノイズ混入の原因にもなります。
- ・ 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、出力コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- ・ 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- ・ ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。

- ・ コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水等で濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブルの抜き差しは、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- ・ 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- ・ UPS の最大入力電流以上の電流容量のある電源コンセントに接続してください。電源配線が発熱する事があります。
- ・ 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
- ・ 機器の配線は 2 極 3 線式の交流電源をお使いください。この電源はヒューズやブレーカ等の電気遮断装置に配線されている必要があります。遮断装置を介さない電源への接続は感電の原因となる場合があります。
- ・ 配線の工程を必要とする電気機器の設置は、必ず電気工事の有資格者に依頼してください。
- ・ 危険な状態での単独作業は避けてください。
- ・ 導電体を通じて多量のショート電流が流れると、重度の火傷などの原因になる事があります。



注意

- ・ 電源ケーブルを足でひっかけるような場所には配線しないでください。つまずいて怪我をすることがあります。
- ・ 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線（とくに大電力を消費する機器等）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- ・ 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適しておりません。
- ・ この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適しておりません。
- ・ レーザープリンターを本装置のバックアップコンセントに接続しないでください。レーザープリンターは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

電源を切る際の安全確保のために

- ・ 機器にバッテリーなどの内部電源を搭載している場合は、装置が AC 電源に接続されていない場合でも出力側に電力が発生する場合があります
- ・ UPS の電源を切るには、2 秒以上 OFF ボタンを押し、機器の電源を切ります。次いで、AC 電源ケーブルをコンセントから外して、バッテリーを外します。



警告

無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用しないでください。

- ・ 人体／生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御
- ・ きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器等の制御
- ・ 工作機械の制御

- ・交通機関（電車や自動車等）の制御や管制

バッテリーの安全確保のために



- ・バッテリーは定期的に交換してください。
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
- ・本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。
- ・バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。
- ・バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。
- ・可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないでください。バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。
- ・バッテリーを金属物でショートさせないでください。火傷をしたり、火災を引き起こすことがあります。また、使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



- ・バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電または火傷のおそれがあります。
- ・次の注意事項を必ず守ってください。
 - ・時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。
 - ・絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。
 - ・バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。
- ・バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。
- ・最初に UPS に取り付けられていたバッテリーと同一仕様のバッテリーに交換してください。APC 製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。
- ・UPS がバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。
- ・バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。
- ・本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。
- ・本装置は周囲温度が 5～25 °C の範囲内で管理することをお勧めします。

バッテリーのリサイクル

バッテリーに関する情報は下記 URL にて公開しています。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

バッテリーは必ずリサイクルしてください。古いバッテリーは適切なリサイクル施設まで届けるか、新しいバッテリーの梱包材に包んで送り状に“RBC 交換済み廃棄バッテリー在中”と記述し、廃棄バッテリーであることをご記入のうえ、弊社指定の下記住所までお送りください。詳しくは新しいバッテリーの説明書をご覧ください。(詳細については下記の**連絡方法**を参照)

・使用済みバッテリー送付先(弊社指定交換用バッテリーご購入時)

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 38-25

(株)ダイセキ MCR 内 シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター

使用済みバッテリー受付係 TEL:028-664-2228

s-info@daiseki-mcr.com

シュナイダーエレクトリックへの連絡方法

弊社連絡先は、下記 URL からご確認ください。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

3.仕様

全般

項目	仕様・機能		規格・備考
	BR1000S-JP	BR1200S-JP	
運転方式	ラインインタラクティブ		
冷却方式	自然空冷		

外形寸法

本体 H×W×D [mm]	250×100×382		
梱包時 H×W×D [mm]	337×225×487		

質量

正味質量	11.3kg	12.6kg	
梱包質量	11.7kg	13.0kg	

交流入力

定格入力電圧	AC100V		
相数	単相 2 線		アース付き
定格入力周波数	50/60Hz		自動検出
最大入力電流	12A		
入力ブレーカ定格	15A		
入力ケーブル長	1800mm		入力プラグを含まず
入力プラグ形状	NEMA5-15P		標準プラグ

交流出力

定格出力電圧	AC100V		
相数	単相 2 線		アース付き
定格出力周波数	50/60Hz		入力電源に同期
最大出力容量	1000VA /600W	1200VA /720W	
出力コンセント形状	NEMA5-15R		
出力コンセント数	8 個 (バックアップコンセント 4 個、 サージ保護のみコンセント 4 個)		
バッテリー運転時の出力電圧	AC100V ±8%		
バッテリー運転時の出力周波数	50/60Hz±1Hz		
バッテリー運転時の出力波形	正弦波		
対応負荷力率	0.60 以上 1.0 以内		

3.仕様(つづき)

切り替え特性			
項目	仕様・機能		規格・備考
	BR1000S-JP	BR1200S-JP	
外部電源動作の入力電圧下限	78V～85V 1V ずつ設定可能		初期設定時：82V
外部電源動作の入力電圧上限	120V～126V 1V ずつ設定可能		初期設定時：123V
AVR ブースト動作 入力電圧範囲	AC90V～AC82V		AVR ブースト：UPS の 入力がAC90V～82V の 場合、バッテリーを消 耗せずに、UPS の出力 を約 13%上昇させる機 能（初期設定時）
AVR トリム動作 入力電圧範囲	AC110V～AC123V		AVR トリム：UPS の入 力がバッテリーを消耗 せずにUPS の出力を約 11% 下降させる機能 （初期設定時）
停電時切り替え時間(通常)	6ms（通常）10ms（最大）		

バッテリー仕様			
バッテリー形式	小形シール鉛蓄電池		長寿命タイプ
バッテリー仕様	12V7.2Ah	12V9Ah	
バッテリー個数	2 個		
バッテリー期待寿命	使用温度	期待寿命	放電回数と周囲温度に よって変化する。 ※交換目安は、保証値 ではありません。
	5～25℃	4.0～5.0 年	
	30℃	2.8～3.5 年	
	35℃	2.0～2.5 年	
充電時間	約 8 時間	約 10 時間	90%容量までの充電時間
充電動作	AC 入力給電により充電		電源スイッチ OFF 状態 でも充電
交換用バッテリーキット型番	APCRBC123J	APCRBC124J	

3.仕様(つづき)

サージ/ノイズ抑制			
項目	仕様・機能		規格・備考
	BR1000S-JP	BR1200S-JP	
サージエネルギー率 (1回 10/1000 μ s)	339J		ノーマルモード
	764J		コモンモード
サージ電流許容量(8 \times 20 μ s)	10KA		最大ピーク
サージ応答時間	<50ns		ノーマルモード
	<50ns		コモンモード

電気特性		
項目	仕様・機能	規格・備考
突入電流	61.2A	最大
消費電力	15W	通常
	39W	最大
発熱量	54kJ/h	通常時、全負荷
	140kJ/h	充電時、全負荷
	566kJ/h	バッテリー運転時
1m 距離での可聴ノイズ	45dB 以下	オンライン運転時
耐電圧	AC1500 V-1 分間	
安全規格、EMC	UL1778, VCCI Class B	
管理ソフトウェア	PowerChute Personal Edition (対応 OS : Windows Vista/7/8/8.1/10/Home Server)	標準バンドル

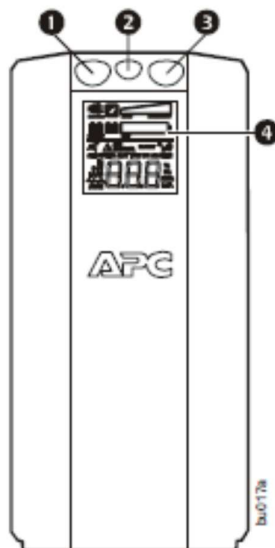
3.仕様(つづき)

保護動作			
項目	仕様・機能		規格・備考
	BR1000S-JP	BR1200S-JP	
過負荷保護	サージ保護のみコンセント 入力ブレーカ(15A)による保護		※バッテリー運転時に有効
	バックアップコンセント 105%(検出) 110%以上(4秒後に停止)※		

使用環境		
項目	仕様・機能	規格・備考
使用周囲条件	0~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	3,000メートル以下 (10,000フィート以下)	最大高度
保存周囲条件	-15~45℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	15,000メートル以下 (50,000フィート以下)	最大高度

4.各部の名称

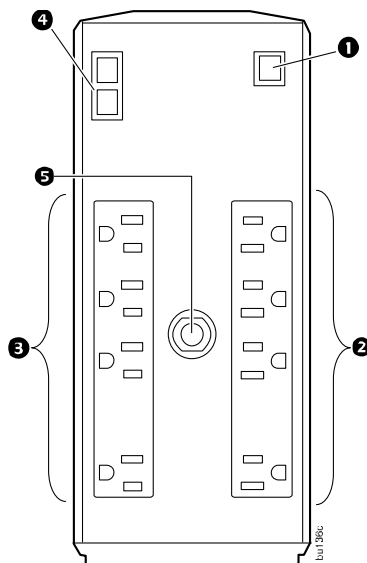
正面



No.	名称	機能解説
①	ミュートボタン	警告音 (ON/OFF) の設定を行います。
②	電源スイッチボタン	電源の ON/OFF を行います。
③	表示ボタン	LCD の表示切り替え、メニューの選択ならびに機能の設定などに使用します。
④	LCD ディスプレイ	次項を参照

4.各部の名称 (つづき)

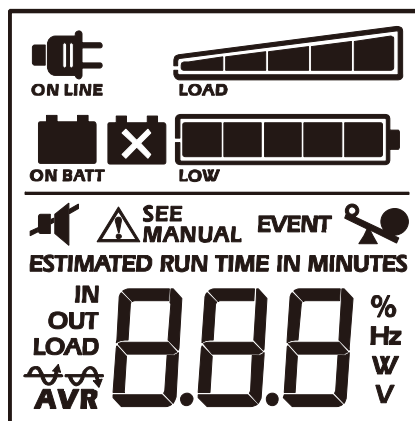
背面



No.	名称	機能解説
①	インターフェイスポート	PowerChute Personal Edition を使用するために、専用 USB ケーブルで PC を接続します。
②	サージ保護のみコンセント	本装置がオフの場合もサージ保護は常時有効です。バッテリーバックアップを必要としないプリンターやスキャナーなどの機器を接続します。
③	サージ保護付きバックアップコンセント	停電時にはバックアップコンセントに最大出力容量範囲内の電力供給が一定時間行われます。(バックアップコンセントには停電時に電源のバックアップが必要な機器を接続してください。)
④	Ethernet 用サージ保護ポート	Ethernet ケーブルを In ポートに差し、保護したいネットワーク機器など Out ポートに接続してください。
⑤	サーキットブレーカー	過剰な負荷やショートが発生した後に、システムをリセットするのに使用します。

5.LCD ディスプレイについて

本装置の前面パネルには、LCD ディスプレイがあり、以下の表示内容が現在の本装置の状態をお知らせします。




	名称	機能
	オンライン運転中	本装置の電源が入っていて、商用電源が正常かつ安定した状態にある時に点灯します。(通常使用時)
	バッテリー運転中	商用電源が正常ではない、または停電状態にありバッテリーで電力を供給している状態にある時に点灯します。
	バッテリー交換表示	バッテリー寿命が近づいた場合や、バッテリーが接続されていない場合に点滅します。
	ミュートモード	本装置の警告音をミュートモードになっていることを示します。ミュートボタン約 2 秒間長押しすることでミュートモードに変更することができます。
	バッテリー残量レベル	バッテリーを 5 段階で表示します。レベルが 1 段階まで低下すると LOW とバッテリーレベルが点滅します
EVENT	イベント	イベント数を表示します。点灯している場合、本装置にイベントが発生しているため、注意が必要です。
	過負荷表示	バッテリーコンセントに対して最大出力容量を超える負荷になった場合は過負荷表示が点灯します。
IN OUT LOAD	入力、出力、負荷	IN - 入力 OUT - 出力 LOAD - 負荷
	AVR 機能作動中	AVR が点灯すると入力電圧の自動電圧調整機能が作動していることを意味しています。電圧低下や過電圧状態になっている可能性があります。
	システムフォルト	本装置に不具合が発生した場合 LCD 表示に F01 から F09 までのシステムエラー表示がされます。
	負荷容量レベル	5 段階で本製品への負荷容量を表示します。本装置が容量を超えると、過負荷状態を示す記号が表示されます。

・セルフテスト (自己診断)

本装置は電源投入時や 2 週間ごと、およびソフトウェアの使用によってバッテリーおよび内部回路に異常がないかをユーザに通知する目的で実行されます。なおソフトウェアからセルフテストを実行する時はバッテリー容量が 100%であることを確認してから実行してください。

6. 機能ボタンクイックレファレンス

機能	ボタン	時間 (秒)	UPS の 状態	説明
電源スイッチオン		0.2	オフ	電源スイッチボタンを押して入力商用電源の受電を開始します。 商用電源が利用できない場合、本装置はバッテリー電源で作動します。
電源スイッチオフ		2	オン	本装置では入力商用電源を受電していませんが、サージ保護機能は作動しています。
状態チェック		0.2	オン	本装置の状態または条件を確認します。 LCD は 60 秒間点灯します。
常時点灯モード/ 節電モード		2	オン	本装置で警告音が鳴り、LCD 表示が常時点灯モード/節電モードであることが確認されます。節電モードになっている場合は、LCD は 60 秒後に暗くなります。
警告音の有効化/ 無効化		2	オン	警告音を有効または無効にします。 ミュートアイコン点灯し、本装置から警告音が一回鳴ります。
感度		6	オフ	負荷容量アイコンが点滅、本装置が設定可能モードであることを示します。 電源スイッチボタンを使用し、低感度、中感度、高感度を切り替えて、選択する感度で止めます。 本装置からの警告音が出され選択が確認されます。詳細については、「設定」の項を参照してください。
セルフテスト (手動)		6	オン	UPS が内部バッテリーのテストを実行します。注：このテストは電源をオンにしたときに自動的に行われます。 注意：警告音が 2 回なるまでボタンを押し続けてください。 途中で離すと、出力が停止します。
イベントのリセット		0.2	オン	イベント画面が表示されているときに、表示ボタンを押したままにして、電源スイッチボタンを押し、イベントカウンターをリセットします。
フォルトのリセット		2	障害	フォルトの確認が終わった後に、電源スイッチボタンを押して表示されている指示を削除し、スタンバイ状態に戻します。

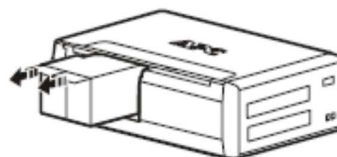
7. 操作手順

1. バッテリーを接続してください。

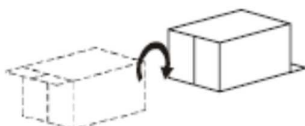
危険防止の理由から、本装置は内部のバッテリーの接続を取り外した状態で出荷されています。下記を参照してバッテリーを接続してください。



①バッテリーカバーを開けます。



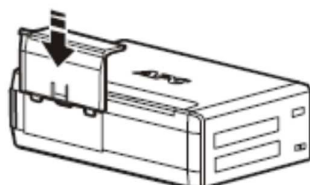
②バッテリーを取り出します。



③バッテリーの上下をひっくり返します。



④バッテリーを元の位置に戻します。



⑤バッテリーカバーを取り付けます。

2. 充電をしてください。

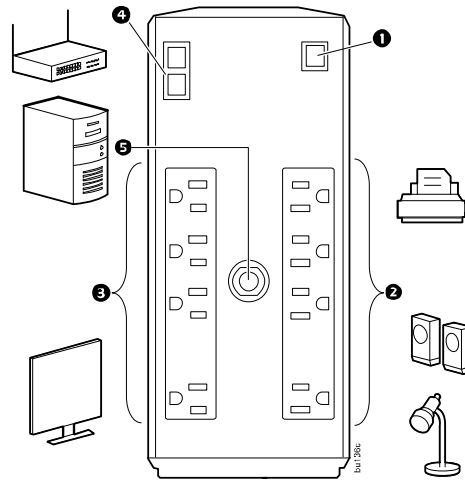
BR1000S-JP は、使用前に 8 時間以上、BR1200S-JP では、使用前に 10 時間以上充電する必要があります。本装置を商用電源に接続してください。

備考：バッテリーは、本装置が商用電源に接続している間は常に充電します。



BR1000S-JP のバッテリーは 8 時間、BR1200S-JP のバッテリーでは 10 時間充電されるまではバッテリーバックアップ時間が短くなることもありますのでご了承ください。

3. 接続機器（負荷）を接続してください。また、データ回線は回線サージ保護ポートに接続します。



(接続例)

サージ保護付きバックアップコンセント x 4 個の接続例

バックアップコンセントは停電時にはバッテリーから電力が供給され、サージ保護機能を有しています。停電時に電源バックアップが必要な装置を接続します。

サージ保護のみコンセント x 4 個の接続例

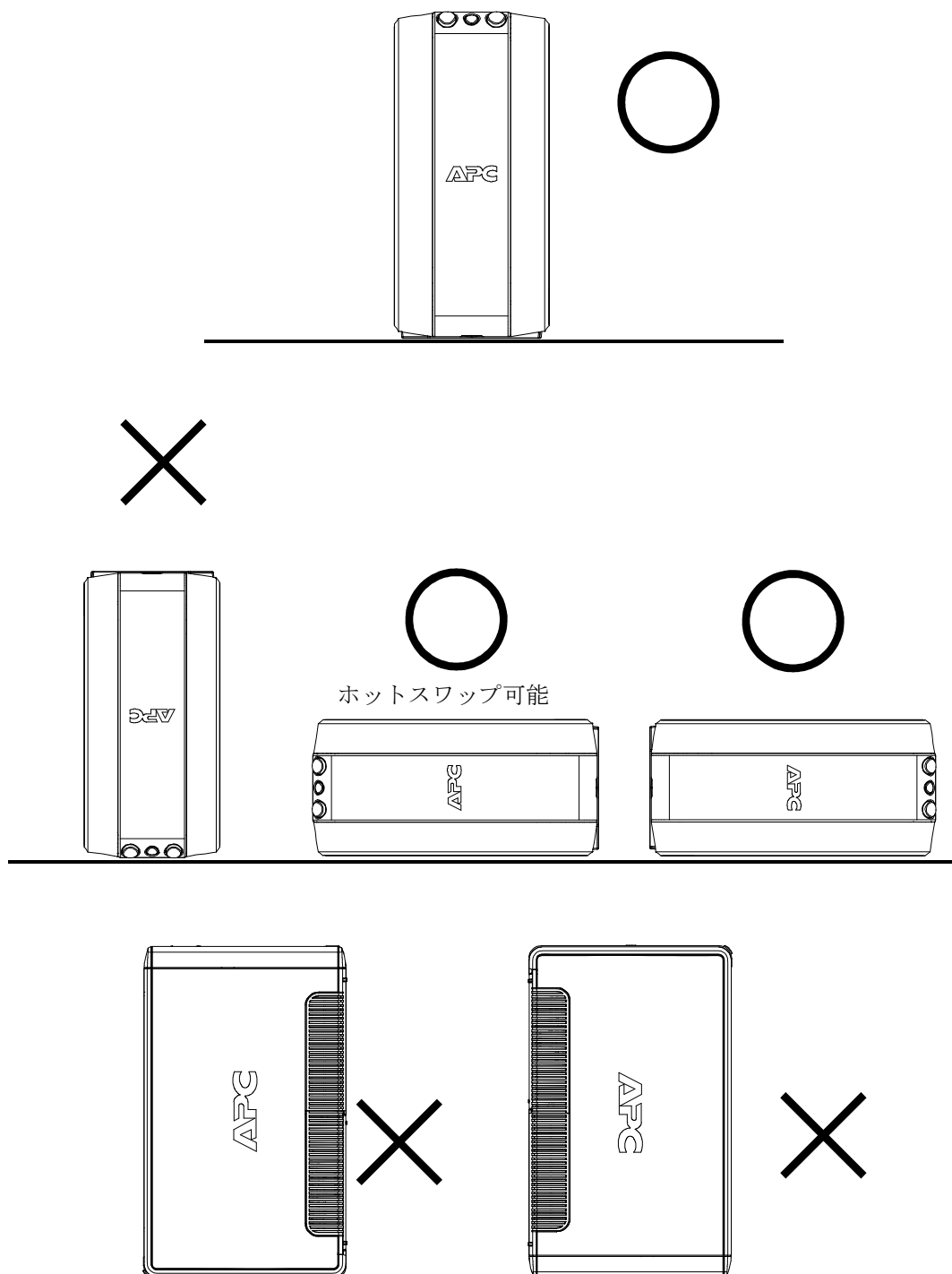
サージ保護のみコンセントは電源スイッチの On / Off に関係なく、常に電源供給がされています。停電時には電源バックアップいたしませんので、電力供給が止まっても問題ない装置を接続します。

Ethernet 用サージ保護ポートへの接続例

本装置背面にあるサージ保護ポートは、ネットワーク回線（10 Base-T、100 Base-TX、1000 Base-T）を伝わってくるサージによる損傷からネットワーク機器、パソコン等を保護します。図に従って接続してください。

8. 設置

下図で指定した設置方向以外では使用しないでください。



9. USB ケーブルを接続

本装置背面パネルにあるインターフェイスポートにUSB ケーブルを接続し、バンドルされているUPS 電源管理ソフトウェアをインストールすることで、高度な電源管理が可能になります。

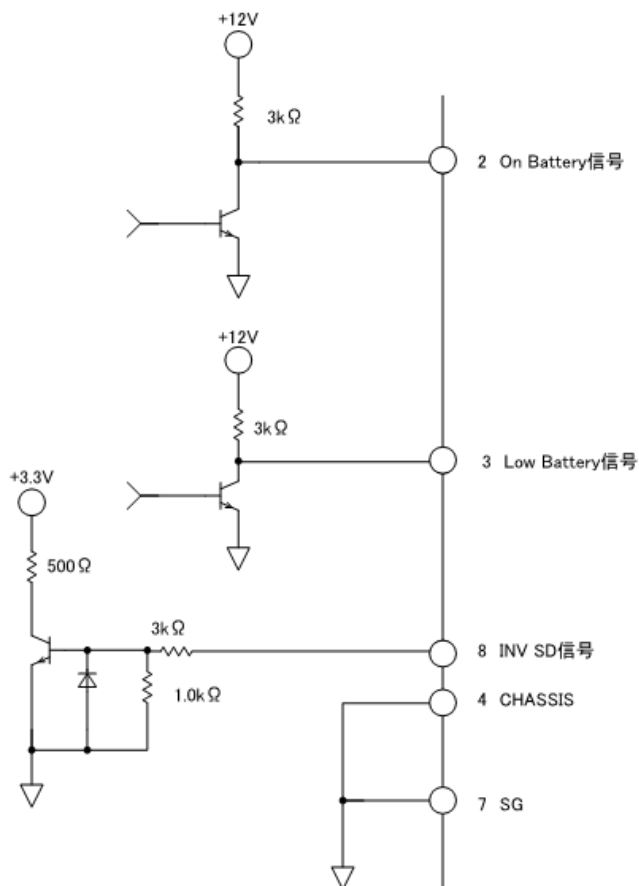


USB ケーブルはUSB ハブではなく必ずコンピュータのUSB ポートに直接接続してください。

10. シンプルシグナリング機能

本UPSのインターフェイスポートにはシンプルシグナリング機能(接点通信)を備えております。下記はインターフェイスポートのピンアサインに関する情報です。

- ・ピン 2 : On Battery (停電信号 : 送信)
UPS がバッテリー運転になると電圧レベルが Low(0V)から High(+12V)となります。
通常時は Low レベルです。
- ・ピン 3 : Low Battery (ローバッテリー信号:送信)
UPS がローバッテリー状態になると電圧レベルが Low(0V)から High(+12V)となります。
通常時は Low レベルです。
- ・ピン 7 はシグナルグランド(SG)として使用。
- ・ピン 8 : INV SD (インバーター停止信号 : 受信)
UPS は商用電源障害時 (バッテリー運転時) 、4 秒間継続して High レベル(+12V)を受信すると、60 秒後出力を停止します。



Pin 1



11. ランタイム

型番		BR1000S-JP	BR1200S-JP
最大出力 VA		1000	1200
最大出力 W		600	720
VA	W	バックアップ時間 (単位: 分)	
10	10	378	402
66	40	139	160
100	60	90	112
130	80	67	86
200	140	36	47
290	180	26	35
400	240	18	24
500	300	13	18
600	360	10	13
700	420	7	11
800	480	6	8
900	540	4	7
1000	600	3	5
1100	660	-	4
1200	720	-	3

上記バックアップ時間は力率=約0.6の負荷を想定した値となります。

また、数値に関してはあくまでも参考値であり、実際のバックアップ時間は充電状態、周囲温度、使用年数等により異なります。

12. 保管

UPSの保管の際はバッテリーを十分に充電し、カバーを掛けて温度が低く乾燥した場所に保管してください。保管する前にBR1000S-JPでは少なくとも8時間、BR1200S-JPでは10時間、充電します。バッテリーの消耗を避けるため、コンピュータインタフェースポートに接続されている全てのケーブルを外してください。

・ 長期保管について

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に補充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針(電池工業会指針: SBA G0202)に基づき、以下のとおり補充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25℃以下	6ヶ月以内
30℃以下	4ヶ月以内
35℃以下	3ヶ月以内
40℃以下	2ヶ月以内

13. 製品保証

保証範囲

シュナイダーエレクトリック株式会社は、商品に対して下記で示した期間の無償保証を行います。

但し、日本バージョンの日本国内で使われているUPSに限ります。

この保証は天災や事故によるダメージ、お客様の過失、間違った使用や改造したUPSには適用されません。

保証期間及び各保証範囲

1 無償保証

- ・購入日より起算して3年間。
- ・無償保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
 - 1) ご使用上で誤り、又は改造や不当な修理改造による故障及び損傷。
 - 2) お買い上げ後の不適切な取り扱い（例：落下）、あるいは引越し、輸送等による故障及び損傷。
 - 3) 火災、地震、落雷等による天災地変ならびに公害や異常電圧。その他、外部要因による故障及び損傷。

2 有償保証

- ・無償保証期間3年経過後の商品

3 供給及び修理の継続

- ・購入日より起算して5年間の保証とします。

生命維持に関する方針

1 一般的な方針

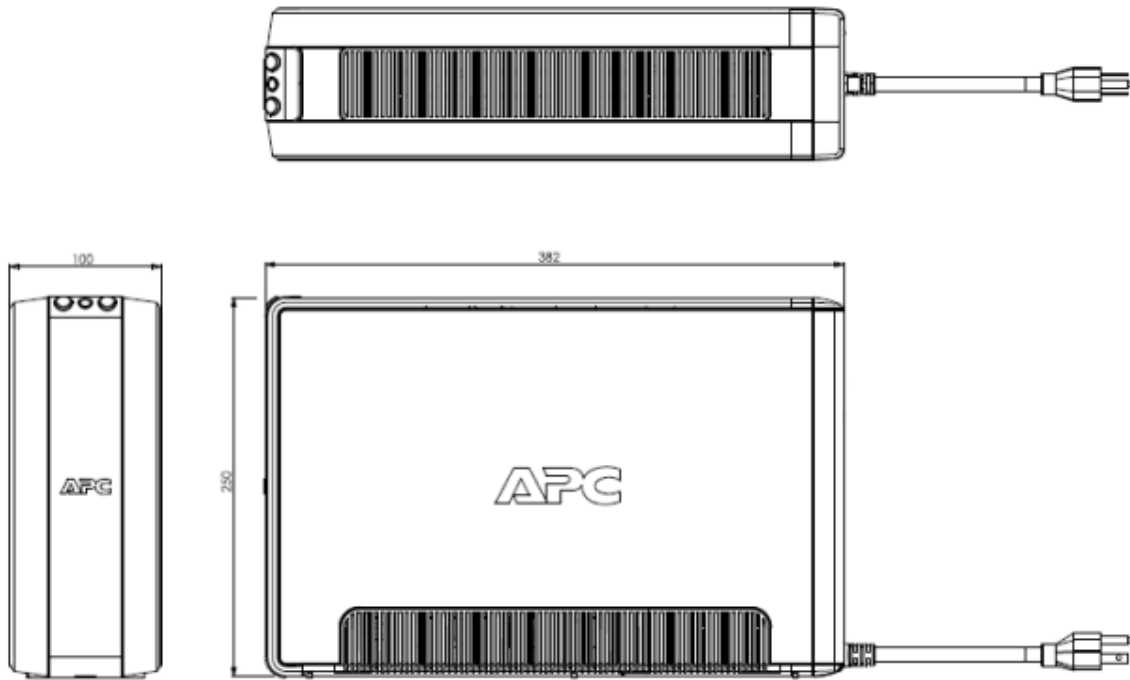
シュナイダーエレクトリックは、一般的な方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用いただくことをお勧めしません。生命維持装置では、APC製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生したり、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予期されます。シュナイダーエレクトリックは(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとでシュナイダーエレクトリックの責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。

2 生命維持装置の例

生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児酸素分析装置、神経刺激器（麻酔、鎮痛等に使用）、自動輸血装置、血液ポンプ、細胞除去器、不整脈検出器および警報器、ペースメーカー、血液透析システム、腹膜透析システム、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、麻酔人工呼吸器、点滴ポンプ、および合衆国食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他すべての装置があげられます。

多くのAPC UPSシステムに対し、オプションとしてAPC社製品以外の「病院等級/医療機器等級」の配線装置と漏れ電流装置を注文ができるものがありますが、シュナイダーエレクトリックではこのような修正が施された装置が、弊社または他の組織によって「病院等級/医療機器等級」として認定あるいは分類されていると提言するものではありません。

14. 外形图



单位 : mm